



学校を開き、生徒の未来を拓く

□ 伝える力

「出会う機会」「知る機会」「伝える機会」この3つの機会を、巢南中学校では今年度たくさん提供することを始業式で生徒に話しました。これは、昨年度実施した生徒アンケートや学校評価などから見えてきた学校課題を、改善するための手段であると考えたからです。

「伝えること」について、先日、びっくりする記事を目にすることがありました。私たちがよく使う「大丈夫です」という言葉についてです。次のような内容でした。

ある職場で50代の上司が20代の部下に、他部署との間で生じたトラブルに対処するよう依頼したそうです。依頼に対して部下は「僕は大丈夫です」と答えました。部下がその後何も対処していないことを知ったため上司が問いただしたところ、部下の「大丈夫です」は「僕には無理です」の意味だということが分かったそうです。

このような日常のコミュニケーションや使う語彙力の低下は、私たちの生活に浸透しているSNSでの言葉使いが大きく影響しているのかもしれませんが。SNSでは、その瞬間の感情を、シンプルに分かりやすくスタンプや単語で表現します。しかし実際のコミュニケーションはもっと複雑であり、相手の言葉の一つひとつを丁寧に受け取って理解し、言葉を選んで相手にわかりやすく伝えることで関係を築きます。そういった経験がどんどん省かれているようで危機感を覚えます。

このような背景もあり、国語の授業では従来からの物語や説明文の教材に加え、話すことのスキルを高める教材にも力を入れています。先日の学校運営協議会委員の訪問時でも、社会問題に対する考えを発表する授業を行いました。聴き手に訴えたいことを伝えるために、論の展開から表現や話し方を工夫しプレゼンを行い、聴き手に評価をしてもらう授業です。

また、今年度から朝の活動の時間に「ソーシャルスキルトレーニング」を定期的に取り入れています。「ソーシャルスキルトレーニング」とは「社会の中で暮らしていくための技術」を身に付けるものです。班などの小さい集団で、ゲームなどを通して対人関係や集団生活を営みやすくする訓練をしています。この取組も伝える力を高めることに効果があると考えています。

□ 夏休み中の自治会活動について

コロナが5類に移行し、数年ぶりに「ラジオ体操」「サマーフェスタ・軽スポーツ」「クリーン活動」などの地域ふれあい事業が、各自治会の実態に応じて企画されると聞いています。地域ふれあい事業は長い歴史があり、中学生が主体的に参加し主役となって活躍できる貴重な場でもあります。

故郷である巢南に愛着をもち、自分のできる範囲で無理なく、地域に貢献できる活動に参加することは、将来、社会を創造する担い手となる中学生にとっては意義のあることです。複数の自治会長さんから、「中学生がラジオ体操に参加してくれる」「小学生の時に参加したサマーフェスタを、今度は僕たちが運営したいと話してくれた」などの話を聞かせていただきました。地域活動への参加に意欲をみせる生徒の姿を喜んでみえます。

中学校では生徒が自信をもってラジオ体操ができるよう、夏休み前の体育の準備運動に取り入れます。ラジオ体操への参加も含め、夏休みは地域に貢献できる活動に参加する生徒がたくさんいることを願っています。



□ [お知らせ] PTA 情報モラル研修会について

未成年のSNSやスマホ等による様々な問題が、近年取りざたされており、本校でも同じ様子を示しています。PTAでは、この現状を踏まえ、本校ICT支援員の塚本和昌様を講師にお迎えして、保護者向け情報モラル研修を企画していただきました。研修の詳細は次のとおりです。既に申し込み締め切りは過ぎておりますが、今からでも参加可能です。お電話にてお申込みください。

【日 時】 7月11日(火) 11:00~12:00

【場 所】 巢南中学校 多目的室(本館1階東側)

【持ち物】 筆記用具・上靴・上靴を入れる袋

【内 容】 ・子どもがスマホやSNSトラブルにあわないために知っておきたいこと